

# ダブリンシティ大学

## 留学報告書

学部学科・研究科専攻	国際学部国際学科		留学時学年	1年
留学先	国	アイルランド	大学/機関	ダブリンシティ大学
期間	2026年2月7日～2026年3月8日			
	短期・中期・長期 ※○で囲んでください。	計 1 ヶ月		

### [1] 参加したコースの時間数と時間割

- 授業時間数： 時間
- 科目名（受講した科目を全てご記載ください）：

#### 【時間割】

時間	月	火	水	木	金	土	日
例) 9時～13時	○	○	○	○	○	○	Free
9時～13時	○	○	○	○	○	Free	Free

### [2] クラス編成や授業方法について教えてください。

- 【例】クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等  
週によって人数が変わる 13～16人  
9割日本人  
英語を使ってクイズやゲームが多かった。金曜日がその週に習ったことのテストだった。

### [3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

週末は有名な観光地に行くことが多かった。首都内にあるところや、電車やバスで3時間ほどかけて行くこともあった。

### [4] よく利用した施設について教えてください。（図書館、学生会館、スポーツ施設等）

大学の食堂  
シティセンターというダブリンの栄えている場所に行くことが多かった。

## [5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋 1 人で使用

様子：ベットと折り畳みの机があり、収納がたくさんあって部屋自体広かったから快適だった。シャワーは 10 分以内 20 時以降禁止、や朝食の時間などルールは多くあった。

## [6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- 楽しかったこと：たくさん旅行に行けたこと。アイルランド内のいろんな地域に行けて、場所によって雰囲気は違く、都会や自然、食事など場所ごとに楽しめた。
- 苦労したこと：ホストマザーが厳格で、自分が気をつけていても注意されてしまうことが多く大変だった。

## [7] 留学の成果について教えてください

- 1) 語学力の向上：会話のレベルはそれほど変わってはいなくても、自分がどれくらいネイティブと会話できるのか実感できて、自信がつき、ネイティブの人と話す抵抗がなくなった。
- 2) 専門知識の向上：
- 3) 自己成長など：海外で 1 ヶ月生活して、全て自分で考えて判断し、問題を解決しなければいけない状況で、自立ができた。また、違う国で異文化の人と言語が完璧ではなくても伝えるコミュニケーション能力や、違う価値観を受け入れる異文化理解も深まった。留学中に現地の人に話しかけたり、様々なことを経験するためにどんどん動いたり積極性が高まったと思う。

## [8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

留学は良くも悪くも自分次第で価値を変えられると思います。

留学先は思ったより日本人が多く、最初の頃はそホストマザーとしか英語を話していなく、このままだ旅行と変わらなくなってしまうと思っていました。でも、それでは勿体無いと思い、日本が好きな現地の学生が集まるサークルに参加したり、友達の現地の友達を紹介してもらったりして英語を話す機会を増やせるようにしました。あの時積極的に動いてなかったら、旅行の延長線上で終わってしまっていたと思います。また、放課後や休日出かけなかった日はなかったです。どんどん外に出て、知らない街を知ってその国を知り尽くして、帰る日に後悔のないように存分に色々なことを経験するのいいと思います。物価は高いけれど、経験にお金を使うことは躊躇わず、やりたいことは全部やって欲しいです。留学自体の目標と現地でのやりたいことリストをしっかりと作っておくことが重要だと思います。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

	内訳		金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費(授業料、フライト代他)	800000
2	中期・長期留学者のみ	フライト代	0
3	中期・長期留学者のみ	滞在費(寮費・ホームステイ代など)	0
4	教材費		0
5	保険代		40000
6	私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)		80000
7	個人的な買い物		30000
8	その他( )		0
9	留学に関する費用 (1 から 8 の合計)		1000000
10	受給した奨学金(奨学金名: )		0
11	留学に関する費用総額 (上記 9 から 10 を引いた額)		0

